

平成28年度 調査船調査計画書

1 船 名 北 光 丸 (北 海 道 区 水 産 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 902トン 4000馬力

3 調 査 名 親潮広域調査・道東沖沿岸高密度調査・気候変動影響評価調査
 (予定している予算科目名: 農林水産技術会議プロ研「気候変動影響評価」、交付金一般研究「親潮域一次生産5AB101後継課題」「海況予測システム1BD104後継課題」、CREST「Digital DNA chipによる生物多様性評価と環境予測法」、水産庁事業「資源変動要因分析調査後継課題」)

4 調 査 期 間 平成 29 年 1 月 20 日 ~ 平成 29 年 1 月 31 日 (12日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 北海道区水産研究所 生産環境部 生産変動グループ
 責任担当者 : 黒田 寛
 電 話 : 0154-92-1723

6 乗船調査員等

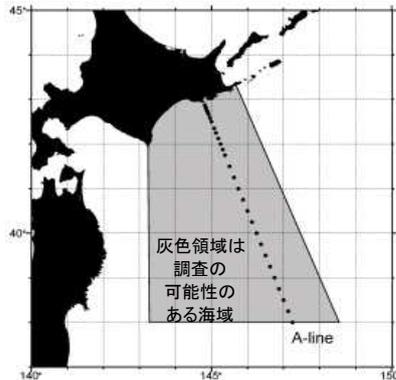
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	黒田 寛	北水研((併)中央水研)	1月20日 ~ 1月31日
	葛西広海	北水研	1月20日 ~ 1月31日
	谷内由貴子	北水研	1月20日 ~ 1月31日
	日下 彰	中央水研((併)北水研)	1月20日 ~ 1月31日
契 約 職 員 :	未定		~

7 調 査 目 的 親潮域・混合域の海洋構造および低次生態系構造の変動を把握するため、A-lineにおけるモニタリングを行う。得られた水温塩分データは、速報値として、TESAC通報を通じてGTSPPIに配信する。さらに、海洋環境データは海洋モデルの出力を校正するために、また、海況予測システムを制御するために利用する。道東沖沿岸域においては高解像度の集中観測をおこない、陸棚域と極沿岸域で異なる水塊構造、流動場、および生物環境を把握し、北海道周辺高解像度モデルの開発に利用する。

- 8 調 査 項 目
- ① 海 洋 観 測 : 表面水温、XCTD観測、CTD観測、キャローセル採水(クロロフィル、栄養塩、植物プランクトン、微小動物プランクトン、溶存酸素、フローサイトメトリー)、ADCP観測、LADCP調査、AAQ観測、EPCS観測
 - ③ プランクトン調査 : プランクトン採集(NORPACネット、BONGOネット)
 - ⑨ そ の 他 調 査 : 動植物プランクトンの船上培養実験調査

9 調 査 海 域 道東沖沿岸域、親潮域、混合域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
1月20日	釧路出港		1	8	3	
1月31日	釧路入港					数日毎の寒気吹き出しで調査不可のため、安全を確保するには予備日が必要
	合計		1	8	3	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 63.01 KL